

平成29年12月25日

経済建設常任委員会議会報告会報告書

天童市議会議長 様

代表者 水戸 芳美
記録者 遠藤 喜昭
班 員 鈴木 照一
" 石垣 昭一
" 山崎 諭
" 松田 光也
" 熊澤 光吏



議会報告会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成29年12月12日(火) 午後3時～午後4時30分	
2 会 場	天童市農業センター2階 和室	
3 欠 席 議 員	なし	
4 参 加 者 数	市内若手農業者7名	
5 報 告 内 容		
6 意見交換の内容	意見等	出席者の意見要望等
	委員長 天童市ではサクランボやラフランスなど果樹が盛んだが、後継者不足等で耕作放棄地も増えている。人手不足も日常化している中でどのような状況なのか、どのように対応しているのか。市に対しての要望などはないか。	◎特にサクランボの時期は大変。山形の顔でもある产品なので、守って行く上でも地元の企業などに有給休暇の取得や週末に手伝ってもらえるような呼びかけや運動ができないのか。 ◎特にイオンが来てから人手の確保が困難と感じる。また工業団地も増えてきており、益々困難になるのではないかと。海外からの農業研修生の受け入れや海外からでも人手を確保できるよう行政で対応してもらえないのか。

		<p>◎サクランボの時期だけの雇用では人の確保は難しい。桃、ラフランス、りんご、冬の野菜など年間を通して雇用できる人材派遣ができる体制の構築はできないものか。各農家の主力品種が違うので農家自体の連携も必要なのではないか。</p> <p>◎働く時間帯、作業する場所などを工夫することで男女関係なく採用の幅が広がるのではないか。また、農家の受け入れ態勢もまちまちで、友人が一度の手伝いで苦勞した話を聞いた。楽しく働ける雰囲気環境の整備も必要だ。</p> <p>◎サクランボと桃の期間 5 月から 9 月頃までの人出はいくらでも欲しい。都合のいい時間に働いてもらえるよう受入に対応している。特に忙しい時期だけという都合のいい人の確保が困難だ。</p> <p>◎昨年から山形県が主催するボランティアの受け入れをしているが、3、4人来てくれるものの1日だけなので、指導するだけで終わってしまっている。もう少し長くやってもらえるようにならないものか。</p> <p>◎働きたい人、人手が欲しい農家それぞれが相談できる場所がない。働きたい時間帯を申告し、受入農家を紹介してくれる窓口（ハ</p>
--	--	--

		ローワークのような) があればいいのではないかと。
熊澤委員	サクランボの作業で収穫と詰め方でどちらの人出が多く必要なのか。	◎どちらかと言えば収穫作業に人手がいる。早朝 5 時から 7 時までの 2 時間でもいい。それから出社してもらえればいいので、そういう方がいてくれれば助かる。
熊澤委員	東京オリンピックのホストタウンとして天童市はトルクメニスタンを受け入れることになった。同国では日本の農業に強い興味をしめしている。他国を含めて海外からの研修生を受け入れる窓口を作り準備していくことも大切なのではないかと。	
水戸委員長	皆さんから特に天童市に対しての要望があれば	◎農地 1.2ha が工業団地造成予定地になっており、代替地が欲しい。果樹で生計を立てており、早く植生しても収穫できるまで何年もかかる。対応をして行く上で情報が欲しい。
山崎委員	大切に管理してきた土地であることを、代替地についてのどのような条件のものが欲しいかなど、用地買収の段階でしっかり伝えることが大切だ。	
石垣委員	農協が窓口になっている中間管理機構で遊休農地の集積を行っており、借り手貸し手のマッチングを行っている。地元農業委員が橋渡	

	<p>しをしてくれるので、相談してほしい。</p> <p>遠藤委員 天童市では数年前からラフランスを台湾や香港に販売しはじめており、期待している。 近い将来遊休農地が急増することが見込まれている。農地を集約して農業団地を造成した場合、法人化して規模拡大することなど、みなさんと考えていかなければならない。</p> <p>松田委員 天童市としてこれを作つてという要望とは逆に、自分たちでこれを作りたいというものはないのか。</p> <p>松田委員 これからの農業をどのように進めていくか、農業委員会、農協、行政も含め真剣に話し合いをしていく必要があるのではないか。</p> <p>水戸委員長 結城さんは今年香港で農産品販売に携わった。また、新規就農し食品の加工と販</p>	<p>◎自分はワイン用のブドウを作っているが、南陽市や上山市はそれを奨励している。天童市はいろいろなものがあるが、全市で一丸となって栽培するものがない。若い我々がこれからどこに向かえばいいのかを示してほしい。</p> <p>◎農業団地があっても果樹栽培には適さない。人手もかからず生産性の高いものが何なのかを明確に示してもらいたい。それが分からず何にでも手を出して自分の首を絞める結果になっている。</p> <p>◎農薬散布をしなくても済むアーモンドがいいという話を聞いた。種からアーモンドを取り出し、油を商品化することのこと。また、米を日本酒（加工）にして海外へ輸出するといったのでは。</p> <p>◎農水省の「女子農業プロジェクト」に参加し、海外の市場の可能性を探る目的で、今年1月と10月の2回香港で販売してきた。香港では、日本の農産品や食品は安全で値段が高くても飛ぶように売れた。ただ、一過性ではなく、通年で販売できる物量が必要であることを痛感。農業の法人化など生産体制を整え、海外で販売できる体制が作れないものか。</p>
--	---	---

	<p>売に取り組んでいる。どのように取り組んでいるのかをお聞きしたい。</p> <p>鈴木委員 私もトップセールスで大阪に行きフランスの販売を経験したが、その際外国のバイヤーが大量にシャインマスカットを仕入れるのを目の当たりにした。何を作るかを行政に問うてもできない。生産者であるみなさんがグループをつくり協力していく事が重要。その際行政で補えるものを提案していくのが望ましい。</p> <p>海外や姉妹都市などに出店するのであれば、安定供給などの体制を整えば市に話してもらいたい。</p> <p>遠藤委員 婚活については市長公室だが、分からなければ我々議員に聞いてくれればいつでも案内する。</p> <p>水戸委員長 天童市の遊休農地は 16 町歩、耕作放棄地はその 117 町歩ある。意欲ある人が借りやすくなるよう行政側に申し入れする。</p>	<p>◎農協果樹青年部で2年前から「きんしょうふじ」の栽培を始めている。今のところふるさと納税の返礼品に全部使ってもらっているが、いずれ木が大きくなり収穫量が増えたら海外に輸出できないものか。その際に市は手伝ってくれるのか。</p> <p>また、市主催で農業まつりに姉妹都市が出店しているが、逆にこちらから先方に出店出来たらいきたい。</p> <p>数年前から果樹青年部主催で婚活パーティーを実施している。来年も実施する予定だが、市に対して会場や講師などに係る費用をお願いしたいがどこに行けばいいかわからない。</p> <p>◎東根市の農業委員会では田畑の貸し借りを確認する際すぐにわかるようになっているが、天童市はそういう状況でないので改善してほしい。また、地権者が亡くなり相続人が県外にいと簡単に借りられない。そのまま耕作放棄地となっている。イノシシやサル・クマなどが出没しており、困っているので何とかして欲しい。</p>
--	--	---

	<p>水戸委員長 最後に皆さんの将来の夢や今回初めて市議会議員と話し合いを持っての感想をおききします。</p>	<p>◎ワイン用ブドウづくりを頑張りたい。出荷できない原料を利用して加工販売できるようにしたい。農業をやり始めたばかりで今回いろんな話できて良かった。もっと交流ができる機会があればいいと思う。</p> <p>◎地元の農業を守って行く上で、今問題になっている空き家と遊休農地をセットにして市外県外から新規就農者を募ってみてはどうか。</p> <p>◎息子が将来仕事に就くころ、仕事の選択肢の一つとして家業の農業があるようにしたい。 今日参加してとても有意義だった。</p> <p>◎就農して間もないのでお客様に満足していただけるものを作れるよう技術を身につけたい。また、サクランボなどの加工、販売に取り組んでいきたい。 同世代の若い農業者との交流や意見交換をする機会が無いので良かった。</p> <p>◎参加してよかった。ただ、話足りない事やもっと聞きたいことがあるので別に機会があればと思う。</p> <p>◎議員も農業を勉強していただき助言をいただきたい。</p>
--	---	---

7 議会への要望等		
8 所 感	<p>今回初めて常任委員会で意見交換会を実施して、これまでの地区公民館に行った時と比べ、リラックスして臨めた。また、青年農業士のみなさんの生の声を聞き、より具体的に理解することができた。今回話していただいた意見や要望を市執行部に届けていきたい。</p>	